

2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	地域暮らしの健康学D ～よく生きるための「心のあり方」～ (Health Studies for Community Life ～Mindset for a better life～)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	藤永 博、米澤 好史、則定 百合子、岡田 真理子、小山 秀之、中島 俊介、天野 雅郎		
開 講	南紀熊野サテライト	区 分	学部開放科目
実施日・時間	① 4月22日(土) 13:00～17:00	(教育学部 米澤好史)	
	② 5月20日(土) 13:00～17:00	(教育学部 則定百合子)	
	③ 6月17日(土) 13:00～17:00	(経済学部 岡田真理子／藤永)	
	④ 7月1日(土) 13:00～17:00	(小山秀之 和歌山県臨床心理士会理事／藤永)	
	⑤ 7月15日(土) 13:00～17:00	(中島俊介 北九州市立大学名誉教授／藤永)	
	⑥ 7月22日(土) 13:00～17:00	〔「教養の森センター」 天野雅郎／藤永〕	

【授業のねらい・概要】

この授業では、現代社会におけるいくつかの「心の問題」について再検討したうえで、生涯をとおしてよく生きるための「心のあり方(マインドセット)」について考えてみます。授業計画にあるように、テーマには個人に関わるもの、家族に関わるもの、学校に関わるもの、広く社会に関わるものが含まれます。

現代社会における多くの「心の問題」は、「心のあり方」、すなわち、信念、価値観、判断基準、暗黙知、無意識の思い込みなどに関係すると思われる。そうした問題は、「心のあり方」を変えることによって未然に回避できる、あるいはこじれる前に解決できるかもしれません。この授業ではテーマごとにその可能性を探ってみたいと思います。

【授業計画】

- 第1回 「家族について考える」
愛着という心の絆の大切さ／子どもへのしつけ・よりよい対応／親子の関係性
- 第2回 「学校について考える」
不登校・いじめ／子ども・保護者・教師に対する心理的支援／スクールカウンセリング
- 第3回 「ジェンダーについて考える」
ジェンダー(社会的性差)／LGBT～ダイバーシティ(社会における多様性)
- 第4回 「依存症(アディクション)について考える」
依存症とは／ネット・ゲーム依存／薬物・アルコール依存／ギャンブル依存／他者依存
- 第5回 「よく生きるための心理学」
アドラー心理学／ポジティブ心理学／森田療法／健康な自己愛
- 第6回 「よく生きるための『哲学』」
ディスカッション(受講者もちよりテーマ)／本講座のふりかえり～総括

【到達目標】

現代社会を「よく生きる」ための「心のあり方」について議論ができるようになること。

【教科書】

使用しません。必要に応じて、授業ごとに資料を配布します。

【参考書】

授業時間中に紹介します。

【成績評価方法】

議論への参加状況やレポートなどを総合的に評価します。

【授業時間外学習】

第6回の授業で、受講者からの「もちより」テーマについてディスカッションを行います。本講座の趣旨に沿ったテーマを探し、話題提供ができるように新書等を読んで準備をしてください。

【履修上の注意・メッセージ】

基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにしてください。